

第43回アイ・エス・エフ 見本市レポート 震災の影響薄れ、海外出展社戻る ～消費者対象の5kmウォーキングを初開催

ウェルネスとファッションの国際靴・雑貨見本市「第43回ISF」が10月4～6日、東京・池袋サンシャインシティ文化会館で開催された。前回の4月展では3月に発生した東日本大震災と福島原発の事故の影響で、海外企業の出展取りやめが目立ったが、今回は以前の姿に戻り、海外出展社を含む158社が出展する見本市となった。

2フロアの会場はウェルネス、ファッション、グローバルにゾーニングされ、インソールやソックスなど足の美と健康を提案する商品を多彩に展示したほか、ウェルネスに関連したセミナー、イベント、実演、体験、相談会など多角的に行われ、充実した内容の見本市となった。

会期3日目は一般消費者が対象のウォーキングイベント「ISFスマートウォーク(スマ歩)」を初めて開催した。ウォーキングに関する知識と実技を学びながら、歩くことを楽しんでもらおうという新企画で、参加者が5kmほどのコースを体験した。

同日は見本市会場を一般消費者に開放し、ウォーキングシューズや関連商品を見てもらうと同時に販売も行われた。また、ウォーキングの実演指導のほか、足の手入れや足計測、靴選び、インソール製作の体験なども行われ、メーカー・卸と消費者が接点を持った。

出展社数は158社。内訳は国内74社、海外84社。震災の影響が薄れて出展社が戻りつつある海外出展社では、ドイツ、フランス、メキシコ、中国、香港、台湾、韓国、ベトナム、バングラデシュのほか、マレーシアからも出展があった。

3日間の来場者数は業者4941人(前回比1.4%減)となった。

● 概要

第43回アイ・エス・エフ

展示品目：靴、健康関連グッズほか

出展：158社

来場：4,941名

主催・運営：エフワークス(株)

後援：対日貿易投資交流促進協会(ミプロ)



◆ウォーキングイベント「ISFスマートウォーク(スマ歩)」に71人参加◆

○第43回ISFでは知識と実技の両面からウォーキングへの理解を深めてもらう企画として、初のウォーキングイベント「ISFスマートウォーク(スマ歩)」を実施した。見本市会場を出着点としたウォーキングコースは、江戸川公園を折り返し点とする約5kmで設定、事前予約者のほか、当日参加者も合わせて71人が、快晴の空の下でウォーキングを楽しんだ。



① ウォーキングにスタートする前にストレッチ指導が行われた

○出発に先立って、ウォーキング指導士・歩行アドバイザーの星政和氏によるワンポイント講座が行われ、疲れにくい歩き方やダイエット効果のある歩き方のほか、ストレッチ指導が行われた。ゴール後はヨネックスのシューズ「パワークッション」などウォーキング関連の商品が参加者に当たる抽選会が行われた。

○さらに一般消費者にも開放された見本市会場では、ウォーキングや靴選びの実演セミナーやインソールやソックスなどウェルネス商品を体感してもらった。また、足と靴のなんでも相談コーナーを設け、足の手入れ、足計測や歩行分析などが行われ、足や靴に関するBtoCの情報提供の場となった。



② 初めて開催したウォーキングイベントには消費者が参加した

◆ファッションゾーンではパーソナルスタイリングを見せる◆

○最近増えている“自分らしい”と感じてファッション商品を購入する「自分基準」の消費者に向け、靴店でも靴の個別提案ができるよう、見本市会場では、「靴」から考えるパーソナルスタイリングを、ファッションショー&トークショーで提案した。ショーでは出展社の靴を使い、靴を基点に一人ひとりの個性を引き出すようなスタイリングの基本的な考え方を、ショー形式で解説した。



③靴とウエアのスタイリングを、ファッションショー形式で解説した

◆今見本市で行なわれたウェルネス関連の実演は次の通り◆

1. 足から健康になるメソッドとアプローチ

○スポーツ選手の豊富なトレーニング経験を持つナビスポーツアカデミーの櫻井優司氏が、スポーツ選手がどのようにケガから復帰したかなどを紹介しながら、ストレッチやセルフエクササイズなどを体験してもらった。



④ナビスポーツアカデミーの櫻井優司氏がストレッチやセルフエクササイズを実演した

2. おもてなしを表現する美姿勢・接客印象アップトレーニング

○好印象を与える美しい姿勢やウォーキング、さらにはおもてなしの接客マナーを、「日本姿勢と歩き方協会」理事長の高岡よしみさんが伝授。小売店の販売員に必見の、今日からできる売場での姿勢やウォーキングを具体的に見せた。



⑤会場実演コーナーでは、出展企業のプレゼンが行われた

3. 靴選びと足のお手入れ

○日本整形靴技術協会(IVOジャパン)会員で、プラウド代表の椎野啓三氏が、足と靴の専門的な立場から、足裏のカサカサやタコ、ウオノメなどが取れない人に対して、足の手入れ方法や靴の選び方を教えた。



⑥健康ウォーキング指導士の星政和氏が、自ら実践してきたウォーキング方法を指導

4. 体幹ウォーキングで体と姿勢を変えよう

○健康ウォーキング指導士・歩行アドバイザーの星政和氏が、自ら実践してきた体質改善や腰痛改善、さらにはダイエットに効果を発揮した、体幹を使ったウォーキング方法を指導した。

5. 女性のためのウォーキング ～美しい歩きと姿勢は足元から

○ウォーキングセラピストの平岡裕美さんが、健康に歩くことに「美しさ」をプラスしたウォーキングのポイントを実演して見せた。



⑦日本靴小売商連盟および東靴協会の会員によるパネルディスカッションが行われた

このほか、足と靴のなんでも相談「足ドック」参加各社のブースでは、足型計測、歩行チェック、フットケア、マッサージが行われ、靴選びなどの相談も受け付けた。また2階入口横では出展社の高機能インソールやソックスを展示し、実際に足を載せることではきごちを実感してもらった。

会場2階入口横では「ISFいち押しシューズコレクション」の人気投票が行われた。これは展示した商品やファッションショーではかかれた靴の中から同コレクションに参加した靴を展示し、人気投票を受け付けるもので、会期中だけでなく、11月30日(水)までインターネットでの投票も受け付け、12月9日に抽選、発表される。



⑧「ISFいち押しシューズコレクション」の人気投票が行われた

◆見本市で提案された2012年春夏シューズ・トレンド◆

◎レディス

■傾向 レトロ&トラッドテイストに注目

- 靴自体に大きな変化は見えないが、色や素材の取り入れ方で新しさを表現した商品が増えている。厚くボリューム感のある底回り、太いヒール、やや過剰なパーツなどは継続して用いられるが、こうした根強いトレンドへの反動から、きゃしゃで優雅な細いヒモを取り入れたアッパーデザインも目立つようになった。
- ナチュラル志向や価格以上の価値への需要から、「ひと手間加えた」「手仕事のような」印象が求められる。定番のデザインであっても、こうした工夫により新しさや今年らしさが加味される傾向。また海外工場の技術向上もあり、比較的安価な商品にも取り入れられている。
- テイストではレトロやトラッドが注目される。単にメンズライクだけでなく、わざと野暮ったさやおじさん靴のディテールを取り入れたデザインも多い。



L①アルシュ(株)



L②(株)ウエムラ



L③(株)シードコーポレーション



L④(有)シノハラシューズ



L⑤(株)シュリット



L⑥(有)のさか



L⑦ファッションリンク(株)



L⑧ポパイラバー



L⑨関西アクション(株)



L⑩(株)彩インターナショナル

◆見本市で提案された2012年春夏シューズ・トレンド◆

◎メンズ

■傾向 軽快な底周りのトラッドが増える

- トラッドのアップパーで底周りをスポーツテイストに仕上げたデザインが目立つ。12年夏も引き続き節電が予想される中、クールビズに合わせやすくオン・オフ兼用できるデザインが数多く提案されている。
- エスパドリーユやエキゾチックなカラーリングなど、レディースで好まれたトレンド要素が積極的に取り入れられているのも今季の大きな特徴。



M①Kamioka(株)



M②(株)エムディ企画



M③サンダー商事(株)



M④(株)ジェー・ケー・ブラザーズ



M⑤シバ製靴(株)



M⑥シバ製靴(株)



M⑦(株)シブヤ製靴



M⑧バレリアンシューズ(株)



M⑨(株)東群馬

次回開催概要

名 称: 第44回アイ・エス・エフ
日 時: 2012年4月11日(水)~13日(金)
場 所: 東京・池袋サンシャインシティ文化会館(2、3F)
主催・運営: エフ ワークス(株)
〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-28-5
TEL. 03-5825-3155 FAX. 03-5825-3158
<http://www.isf-web.jp/> isf@f-works.com